

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



# 学校だより

かなざわ

第 218 号 令和 7 年 12 月

2学期がそして2025年が終わろうとしています。様々な校外行事が計画され、天候の影響もあったりなかったりでしたが、すべて予定通りに行われました。保護者の皆様にはあらためて準備等のご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、9月から校内に飾られてきた作品は、涼を感じさせるものから、黒&オレンジ&蛍光でハロウィンが表現されるもの、木の実や紅葉した葉っぱがふんだんに使われたものなど、季節の移ろいを感じさせていました。学習発表会でも、衣装や背景に児童・生徒の表現が加わり、目を楽しませてくれました。作品は学校の外でも展示の機会をいただいています。学校HP「かなよう日記」でも紹介していますので、是非ご覧ください。

学習発表会といえば、分教室では本校舎でのステージ発表・販売だけでなく、横浜氷取沢高校の文化祭にも参加しました。仲間と協力してお化け屋敷を作り上げて、運営し、大成功でした。



それぞれの学習グループでこれまで行事という非日常を一つひとつ経験して、さらに成長してきたことと思います。先日、NHK の時をかけるテレビ～今こそ見たいこの一本！～で、『自閉症の僕が跳びはねる理由』の著者、東田直樹さんの11年前のドキュメンタリー番組「君が僕の息子について教えてくれたこと」が再放送されていました。豊かな表現力で感じたことを伝えていらっしゃる東田さん。講演会で参加者より「どんな運動会なら楽しめましたか」という質問に「運動会が好きです。(できないことがあっても)普段見ることのできない風景を見ることができたからです。」とおっしゃっていました。金沢支援学校の一人ひとりも、それぞれの行事でそれぞれ感じたことがあったらうなと改めて思いました。



これから冬休みを迎えます。年越しから新年にかけて、街の音、光、香り、普段聞かない人の声など、この時期ならではの刺激がたくさん溢れていると思います。是非みなさんの感性で感じて、心を満タンにして3学期を迎えてほしいと思います。

それでは、よいお年を。

教頭 原島